

## 50. 話法の助動詞 (2)

### 1. 話法の助動詞の過去基本形と過去分詞

#### a. 過去基本形

過去基本形は mögen のみ mochte というかたちになりますが、それ以外はウムラウトがつかないだけで、弱変化動詞(規則変化動詞)に似ています。

過去人称変化は、一般動詞の過去人称変化と同様で単数1人称と3人称が一致し、単数2人称には -st をつけます。

	durfte	konnte	mochte	musste	sollte	wollte
ich	durfte	konnte	mochte	musste	sollte	wollte
du	durftest	konntest	mochtest	musstest	solltest	wolltest
er	durfte	konnte	mochte	musste	sollte	wollte
wir	durften	konnten	mochten	mussten	sollten	wollten
ihr	durftet	konntet	mochtet	musstet	solltet	wolltet
sie	durften	konnten	mochten	mussten	sollten	wollten

#### b. 過去分詞

過去分詞は助動詞の場合と本動詞の場合ではことなつたかたちを用いますが、これは werden が受動態の助動詞と本動詞の場合の過去分詞として2種類のかたちを持っている点と同じです。

助動詞の場合の過去分詞 (不定詞と同じ形)

dürfen können mögen müssen sollen wollen

本動詞の場合の過去分詞

gedurft gekonnt gemocht gemusst gesollt gewollt

2. 話法の助動詞も6時称を持っていますが、このうち日常で使われるものはほぼ現在、過去、現在完了のみといってもいいでしょう。また、話法の助動詞の完了時称は常に haben 支配です。

#### a. 助動詞の場合の6時称

現在	Ich kann Deutsch sprechen.	「ドイツ語を話すことができる」
過去	Ich konnte Deutsch sprechen.	「ドイツ語を話すことができた」
現在完了	Ich habe Deutsch sprechen können.	「ドイツ語を話すことができた」
過去完了	Ich hatte Deutsch sprechen können.	「ドイツ語を話すことができていた」
未来	Ich werde Deutsch sprechen können.	「ドイツ語を話すことができるだろう」
未来完了	Ich werde Deutsch sprechen können haben.	「ドイツ語を話すことができてしまっただろう」

この未来完了のかたちは実際には haben が動詞群の先頭におかれて

未来完了 Ich werde Deutsch haben sprechen können.

となります。本来は können が過去分詞であるのにもかかわらず不定形と同形であるため、そのあとに完了の助動詞である haben がおかれればわかりにくくなるためといわれています。

しかし実際には話法の助動詞が未来完了で用いられることはほとんどないといってもいいため、このような例は考える必要はないでしょう。

b. 本動詞の場合の6時称

現在	Ich kann Deutsch.	「ドイツ語ができる」
過去	Ich konnte Deutsch.	「ドイツ語ができた」
現在完了	Ich habe Deutsch gekonnt.	「ドイツ語ができた」
過去完了	Ich hatte Deutsch gekonnt.	「ドイツ語ができていた」
未来	Ich werde Deutsch können.	「ドイツ語ができるだろう」
未来完了	Ich werde Deutsch gekonnt haben.	「ドイツ語ができてしまっただろう」

しかし、気をつけなくてはならないことがあります。次の英語の文をみてください。

*He had to read the book.* 「彼はその本を読まなくてはならなかった」

英語はいまでは *must* の過去形が消滅したため *had to* を用いますが、ドイツ語は過去でも現在完了でも表わすことができ、どちらもほぼ同じ意味になります。

*Er musste das Buch lesen.*

*Er hat das Buch lesen müssen.* (この *müssen* は助動詞の過去分詞)  
ところが *must* と完了不定詞を組み合わせた次の文はまったく違った意味になります。

*He must have read the book.* 「彼はその本を読んだに違いない」

*Er muss das Buch gelesen haben.* ( *gelesen haben* は完了不定詞)

さらに、英語と違っている点は、ドイツ語では話法の助動詞は重複使用ができる点です。

*Er muss das Buch lesen können.* 「彼はその本を読むことができるに違いない」

英語は、こうした重複使用が不可能なため、次のように表現するしかありません

*He must be able to read the book.*

3. 使役動詞や知覚・感覚動詞、あるいはいくつかの動詞は、話法の助動詞と同様に不定詞とともに用いられます。

使役動詞 *lassen* (= *let*) など

*Ich lasse das Paket nach Japan schicken.*

「私はその小包を日本へ送ってもらう」

知覚・感覚動詞 *sehen* (= *see*), *hören* (= *hear*), *fühlen* (= *feel*) など

*Ich sehe ihn kommen.*

「私には彼がやって来るのが見える」

*Hören Sie das Mädchen singen?* 「あなたは少女が歌っているのが聞こえますか？」

その他の動詞 *helfen* (= *help*), *lernen* (= *learn*), *lehren* (= *teach*) など同様に不定詞とともに用いられます。

*Mein Vater hilft mir arbeiten.* 「父が勉強を手伝ってくれる」

こうした動詞の完了時称は話法の助動詞と同じように、過去分詞に *ge-* をつけずに不定詞と同じ形を用いることもあります。

*Ich habe ihn kommen sehen.*

「私には彼がやって来るのが見えた」

*Mein Vater hat mir arbeiten helfen.* 「父が勉強を手伝ってくれた」